

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年2月15日

配布数 7

回収数 7

事業所名 アートチャイルドケアSED SCHOOL武蔵新城

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	割合 (%)				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
						はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	3	3	0	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> もう少し広ければ、遊びに制限を設けず出来るのと思うことがある。今は連携を取って行なっている。 グループの時は狭いように感じる。 せまい。 活動内容を事前に話し合っ場所を譲り合っている。 ブランコ遊具をつくるには、もっと広い空間が適切だが、広くマットを敷くなど安全には配慮している。 人数に対して狭さを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> プログラムを共有・リス部屋を使ったりしながらスペース確保の工夫をしています。 限られた空間の使い方を職員間で話し合いプログラムを設定しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	0	2	5	0	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> セッション数が増えたのに足りなくなったため、日々のセッションでいっぱいばいで園訪問の希望に応えられていない。 余裕を持って関係機関等支援を行いたい。 増員が必要。 業務が多く、残業が多い。その残業には手当がつかず（サービス残業）心労が募る。非常勤（時給）で働いているので、余計に疑問。定時以降の労働時間分も給与を出してほしい。 利用児童が増えた途端、人員異動（減少）があった。 残業代がしっかりつく職場であってほしい。 ギリギリの人数を回している印象。 	<ul style="list-style-type: none"> 共有できるメンバーのときは共同にすることで準備時間の軽減を図っている。 長時間でなくても午後のパート職員などが増えると良い。 午後3セッションでほぼ利用がある、また4セッションで対応している枠もあり、日々人手不足を感じている。 業務については整理を行いながら改善を図るよう務めてまいります。また残業については認識に齟齬があった部分もありますので、事前申請（労働者）や承認（管理者）の徹底をし、早急に改善を図っているところです。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	2	0	57.1%	14.3%	28.6%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> 2階だが階段しかないため、ベビーカーを赤ちゃんを抱っこしながら上がったり、階段を登るのが難しい家庭には代わりを頼みず母一人で頑張っている方もいる。今はベビーカーの方を把握して職員が取りに行っている。 階段が急である上、エレベーターが使用不可であること、廊下に坂道があり、走り、衝突につながりそう（トイレにつながる道） 	<ul style="list-style-type: none"> 階段下にインターホンがあれば、門扉の前に自転車が止められない時やベビーカー昇降のお手伝いなどが把握でき、職員が手伝えるようになると思う。 危険予測がされる場所については、その都度お子さまに伝えている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士が正面衝突しやすい場所がある。 	<ul style="list-style-type: none"> お子さまの目線から死角になりやすい場所を把握し職員の立ち位置を工夫するなどの配慮をしている。 ※トイレから玄関ホールまでの坂道 →走らないように声がけ・マッドを置いて対応。 ※療育室内入口 →走らない様声がけ・テーブルなどで通路を塞がないようにしている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットなどですぐ改善している。 様々な意見が出ているように思う。 	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> 何かご意見を頂いたら、すぐに共有がなされていると思う。 	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> 掲示している。 	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> 月1～2回の事例検討会に参加している。 	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員のアセスメントにより、多様な視点から作成している。 	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	1	85.7%	0.0%	0.0%	14.3%	<ul style="list-style-type: none"> K式検査結果等情報収集している。TVPSをスクールで実施している。 ネガポジ使っている。 K式を参考にしている。 	
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0	1	85.7%	0.0%	0.0%	14.3%	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの項目に対し、一人ひとりに対応した内容で詳しく記載している。 児童発達支援ガイドラインに則って5領域を意識した用紙を作り、都度共有、支援に取り入れることが出来ている。 	
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> どの職員も一人一人の子に合わせた支援が出来ていると感じる。 	
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	0	0	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> グループや共同は共に考えるが、個別は困ったときに相談するが毎回ではない。 季節の行事を考えている。 カンファレンスの時間を毎日儲け、取り組むことが出来ていると感じる。 	
14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> 固定流することで定着をはかる子もいるが、様々な発想から支援内容を豊かに出来ている。 		

	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	2	0	0	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	・保護者様の意見、考えと、こちらの考えに時々相違がある時がある。	・職員、保護者間で話し合い決めている。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・職員の休みの都合などある中、時間を設け、十分できていると思う。	
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・次はこんなことしてみたらどうかなどの話し合いが出来たらもっといいと思う時間がないことも多い。 ・様々な業務がある中、行えている。また、意見を活かすことも出来ていると思う。	
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・PC打ち込み→書面化→カンファレンスと出来ている。	
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2	0	1	57.1%	28.6%	0.0%	14.3%	・あまりサービス担当者会議自体が行われていないように感じる（自治体側の問題もある）	
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	2	0	1	57.1%	28.6%	0.0%	14.3%		
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	0	1	85.7%	0.0%	0.0%	14.3%	・発達の窓口を設けて、連携保育園との相談業務を行ったり、利用時の園訪問を実施している。 ・発達の窓口を行った。（人員不足があり、時間の問題を感じる。負担が大きくなるように思う。） ・連携が難しい園がある中で、保育者を関したりと十分行っている。	園見学をすることで園と保護者さま、それぞれの思いを繋ぐことが出来ているのではないかとと思う。
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	3	2	1	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%	・川崎市の支援級は民間企業は受け入れてくれない。 ・もう少し各小学校の情報があればいいと思う。	
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	0	1	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%	・中央療育のSWとの連絡。リタリコ研修。	
	25	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	3	4	0	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%	・参加できていない現状。	
保護者への説明責任等	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・毎セッション終了後15分の振り返りの中でそういった時間になるように努めている。 ・共通理解が難しい時があっても、保護者様とともに考える姿勢を大事にしている。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・主にスクール長より伝えている。	
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・毎セッション後の振り返りで行っている。	
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	1	0	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	・時間がなく対応できないこともある。 ・申入れに対し、15分以上の相談支援に応じている。 ・園訪問への希望に対し応えるのに時間がかかってしまうところはある。 ・対応の体制を整備するという点では、2歳児3名を一人の職員が見る場面もあり、なにかあった時安全と言えるか疑問である。	
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	3	0	0	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	・おたよりは出していない。眠育などの掲示は行っている。 ・昨年は紙媒体での情報発信だったが、今年度よりリタリコブログで発信している。	
非常時等の対応	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	1	0	85.7%	0.0%	14.3%	0.0%	・児童は？職員は？ ・利用者に対しては○、組織名での履歴書取り扱い×	
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・用配慮となる対象利用者は今のところいないが、誰に対してもそうなるよう対応している。 ・振り返り時、同室では行わないよう配慮しているが、人手不足の時は大部屋に2家庭という時がある。最大限離れて振り返る努力はしている。	
	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	0	1	1	71.4%	0.0%	14.3%	14.3%	・処理バケツの中身を確認し、共有している。 ・感染症対応（嘔吐など）はやや不十分と思う。	
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	・事故を未然に防ぐために細かな視点から多くのヒヤリ報告ができるようにしている。 ・上層部の方より、ヒヤリハットなんて多いのというような言い方があった。ヒヤリハットの意義を分かってほしいと感じる。	
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	1	0	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	・機会が少ない。	